

平成 29 年度の活動

◆河川の状況調査◆



河川調査（美濃加茂市生活学校）

- ・天神川にはごみが多かった。水質調査の結果は良く、長良川はきれいであることが分かった。（天神川を考える会）
- ・川には生き物がおり、比較的きれい。（各務原市生活学校）
- ・水質調査の結果は良好。川幅が狭くなっている。（土岐市生活学校）
- ・月に一度、可児川のごみ拾いをしながら川の様子を見るが、上流からの生活排水等が目立つ。（可児市生活学校）
- ・見た目はきれいでも汚れている川がある。周辺にはごみが散乱している。（養老町生活と環境を考える会）

◆家庭生活で実践したこと◆

<台所>

○流しから調理くず等を流さない。（必須）

- ・水切りネットや三角コーナーを使い、流さないようにした。生ごみはコンポスト等を利用して処分した。（美濃加茂市生活学校ほか）
- ・食品ロスに取り組み、残った調理くずは堆肥にした。（可児市生活学校）

○食用油は流さず適正に処理する。（必須）

- ・新聞紙にしみこませて処理した。（北川町婦人会ほか）
- ・揚げ物の油は残しておき、炒めものに使用する。（清水川を愛する会）
- ・廃油せっけんに利用する。（各務原市生活学校ほか）
- ・市の回収に出すように心がけた。（中津川市生活学校、土岐市生活学校）

○汚れのひどい食器等は洗う前からふき取る。（必須）

- ・キッチンスクレーパーを活用した。（広幡地域女性の会ほか）
- ・不要布やティッシュでしっかりふき取った。（四つ葉会ほか）
- ・新聞紙にしみこませて処理した。（北方町婦人会）

○米のとぎ汁をそのまま流さない（任意）

- ・庭木や花、野菜にまく。（根本愛郷会ほか）
- ・せっけんの材料にした。（養老町生活と環境を考える会ほか）

○台所の洗剤は適量使用する（任意）

- ・アクリルたわしを使用した。（養老町女性会議ほか）
- ・洗剤容器に表示されている適正量を守った。（羽島中央生活学校ほか）
- ・洗剤の使用量を少なくした。（論田川を美しくする会ほか）

<洗濯>

○洗濯洗剤を適量使用する（任意）

- ・洗剤容器に表示されている適正量を守った。（稲津公民館お兄さんお姉さんとお勉強の部屋）
- ・川にやさしい洗濯洗剤を利用し、表示より少なめに使っている。（広幡地域女性の会）

○洗濯・その他

- ・お風呂の残り湯を使用すると、汚れがよく落ちる。（養老町女性会議）
- ・まとめ洗いをする。（大垣市生活学校ほか）

<風呂場>

○石鹸、シャンプー、リンスを使いすぎないようにする（任意）

- ・手の中で洗剤をよく泡立ててから使う。（金山町生活学校ほか）
- ・薄めて利用、川にやさしいものを利用した。（北方町婦人会ほか）
- ・適量を心がける。（中津川市生活学校ほか）

○風呂場・その他

- ・残り湯を洗濯に利用している。（可児市めだかの楽校ほか）

◆普及啓発活動◆

- ・地域の川を守る会、坂本まちづくり協議会環境部会と合同で調査を実施。（中津川市生活学校）
- ・長良東、長良西小学校のふるさと学習や総合学習で講師として、天神川の水質調査を行った。また、こどもエコクラブの親子と河川清掃を行い、啓発をした。（天神川を考える会）
- ・回覧版を利用して校区全体に呼びかけを行った。（清水川を愛する会）
- ・子ども絵画展を開催し、水の大切さを学んでいただいた。（養老町女性会議）
- ・アクリルたわし講習会や、廃油を利用したろうそく作りの講習会を開き、チラシを配布することで地域の方々に生活排水対策を呼びかけた。（広幡地域女性の会）
- ・イベントでのパネル展示や廃油石けんサンプルをチラシと一緒に手渡しし、啓発活動を行った。（各務原市生活学校）
- ・イベントや総会の開催、チラシ配布を行った。（北川町婦人会）
- ・講習会や活動報告を行い、地域の方々に水の大切さを呼びかけた。（根本愛郷会）
- ・可児市環境フェスタで展示を行い、啓発活動をした。（可児市めだかの楽校）
- ・会員を対象とした水環境学習会を開催し、河川の水質や水の循環などについて学んだ。学習した内容は、家族や知人・友人に対して啓発した。（羽島市中央生活学校）
- ・廃油回収日を市内回覧板にて行った。（土岐市生活学校）

- 町の環境フェアで活動を展示したり、「川をきれいにするには」の勉強会を開催したりした。(四つ葉会)
- 環境フェスタにて「川を汚しているのは誰？」のクイズに参加していただき、トロトロ石けんを配布した。また、水環境に関するパネル展示を行った。(可児市生活学校)
- 環境フェアにて呼びかけを行った。(美濃加茂市生活学校)
- 地区センター祭りでパンフレットを配布し、啓発活動を行った。(大垣市生活学校)